

あらかわ 青少年委員だより

第120号

平成25年3月31日

荒川区青少年委員連絡会

荒川区教育委員会事務局

社会教育課

登録(24)0027-02号

青少年委員だからできること
青少年委員しかできないこと

荒川区青少年委員連絡会ホームページ

<http://www.arakawa-seishonen.jp/>



平成25年「成人の日のつどい」1月14日(月・祝)サンバール荒川にて

青少年委員の任期2年のうち1年がたち、1期生も年間の活動をすべて経験し、次の実りへの1年が始まろうとしています。

来る平成25年度は青少年委員制度が始まり60周年という節目の年でもあり、心新たにがんばらなくては、と思っています。

この60年、たくさんの先輩方が荒川区の子どもたちのために活動をされてきたわけですが、時代の移り変わりとともに子どもたちの現状も変わり、それに合った新規事業の立ち上げも大切なことと思っています。どんな新規事業を立ち上げようとも、青少年委員40名、事務局とともに頑張りなく所存ではございますが、関係者の皆様のご理解なくしては何もできません。どうぞ今後ともご指導、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。これからも、楽しく、そしてしつかりと活動してまいります。

60周年にあたり、たくさんの先輩方からパワーをいただきバージョンアップした青少年委員に今後ともご期待下さい。



荒川区青少年委員連絡会

会長 中條 勉

荒川ブロック



百人一首たいけん会



たいけん会終了後全員で

24年度、荒川ブロックでは町屋ブロックと合同で、参加した子どもたちが仲良くなれる活動、中学生ボランティアの育成を目標に行ってきました。特に、百人一首たいけん会では、多くの四中生が参加してくれ、少しは目標に近づいたかな、と思います。

25年度も、ボランティア育成を心掛けて活動していきます。

(江口)

南千住ブロック

明るい笑顔で地域に根差した活動を柱に、「鉄人レース・イン・汐入」をはじめ「なかよしまつり」「南千住駅伝レース」「スポーツゴミ拾い」等地区委員会、町会、自治会等各団体と協力して子どもたちに様々な活動を提供しています。

25年度は各団体と協力体制をさらに密にし、南千住らしい活動の場にしていきたいと思います。

(八木)



鉄人レース in 汐入



なかよしまつり

地域でのブロック活動



日暮里ブロック

24年度は『日暮里の子どもを思う』を活動の軸にしてきました。第10回の日暮里わくわくランドでは参加者から、親子が一緒に楽しめ、自分で作った物で遊ぶ事ができる内容はよい、という声を聞く事ができました。25年度は地域との関わりをより深め、新しい形の日暮里わくわくランドが開催できるように考えていきたいと思います。

(児玉)



日暮里わくわくランド



作ってあそぼう

尾久ブロック



ピロボロ大会



尾久っ子ワクワクまつり

尾久ブロックでは、中高生の育成を目指し、24年度は尾久っ子ランキング等の活動を行ってきました。これらの活動を通じて、例年以上の盛り上がりを見る事ができたと思います。

25年度も気持ちを新たに、明日の子どもたちが大きく羽ばたけるような活動を目指していきたいと思います。もちろん、健康にも気をつけながら…。

(宮崎)

町屋ブロック

町屋ブロックでは、荒川ブロックと合同開催の「親子でたいけんフェスタ」をはじめ、親子で楽しめ、何か発見できるような体験を提案しています。これまでにもアルミ缶でご飯炊きやネイチャーゲーム、新聞紙でのエコ工作にチャレンジ。これからも「親子ではっけん！」につながるような提案をしていきたいと考えています。

(今井)



親子でたいけんフェスタ



新聞紙でエコ工作

社会教育課長の思い

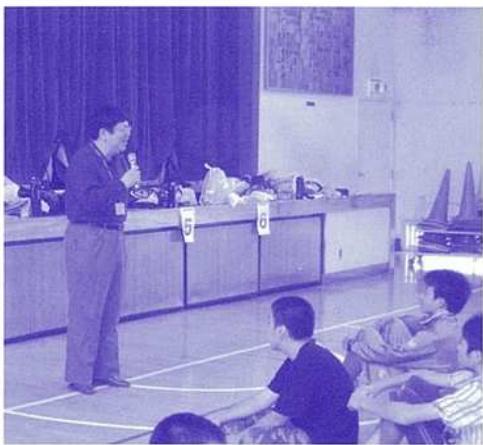


教育委員会事務局社会教育課

課長 山本 吉毅

平成24年4月に社会教育課長に着任してから、間もなく早一年が過ぎようとしています。この間、定例会をはじめ、チャレンジ共和国、成人の日のつどい、さくら教室などの青少年事業、様々な研修会や各ブロックにおける自主事業、校庭利用推進のための「みんなde遊ぼう」など八面六臂のご活躍には感服いたしております。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

さて、青少年委員の皆様方の活動に参加させていただくと、お一人おひとりが地域の子どもたちに対し深い愛情を持つて接していることを強く感じます。そして、なぜ、そのようにできるのかを考えた時、私は、子どもたちから返ってくる笑顔や、成長する姿を見守ることが活動のやりがいなのではないかと思い至りました。そして、こうした皆様のご努力の積み重ねが、荒川の子どもたちの次の50年、100年につながっていくものと確信しております。本年は青少年委員60周年の記念の年となります。今後とも、荒川区の子どもたちの健やかな成長のために、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。



60周年に向けて



荒川区青少年委員連絡会
副会長 長野 一弘

今年の十月に、今年度最大のイベントとも言える『青少年委員60周年』記念行事が予定されています。この周年行事は長い青少年委員の歴史であり、それは取りも直さず、色々な人の出会いとめぐり会いの場ではなかつたかと私は考えています。

さて、この周年行事は10年に1度の事なので、現在実行委員会を立ち上げ、鋭意内容を検討しています。日頃の私たちの活動が表現できるような会にしたいと考えています。青少年委員全員の御協力なくしては、開催・実施する事は出来ないと思つておりますので何卒、御協力の程、宜しくお願ひ致します。

『早春、風まだ寒い三月』そして『陽春、桜花爛漫の四月』。一年のうちで最も出会いと別れを繰り返すこの季節。改めて人とのめぐり会いに色々と思いを馳せる今日この頃です。



校庭及び施設利用部会



校庭及び施設利用部会では「校庭利用の促進」という方針で「みんなde遊ぼう！」出張校庭プレーパーク（）を開催しました。青少年委員が子どもたち



に遊ぶことが大切な
んだな」との声が寄
せられました。来年
度も引き続きこの事
業を行います。安全
な遊び場【校庭】が
多くの子どもたちの
遊び場になるようサ
ポートをしてまいり

(松尾)

青年团体育成部会



A group of people, likely children, are holding up a large white board with various fruits written on it in blue marker. The visible text includes 'メロン ぶどう OK!!', 'カラベリー OK!! ライチ', 'りんご パパイヤ OK!!', and 'もも キウイいちじく'. The background is dark, making the white board stand out.

(初見)



来期も同じよくな프로그램に参加すると思いますが、部員一同さらにこのキルアップをしこどもたちと一緒に学んでいきたいと思っています。

(大根田)

少年團體育成部會



The image is a collage of three photographs. The top right photo shows a group of children in a gymnasium, some holding bags and others looking at a table with various items. The bottom left photo shows a group of children sitting on the grass under trees, possibly during a picnic or outdoor meeting. The middle photo is a close-up of a person's hands working on a small electronic device, likely a microcontroller setup.

四



調査研修部会

調査研修部会の



24年度は、子どもたちが笑顔になれるよう、子どもたちに役立つ楽しい野外活動等を目指し、研修しました。川の手荒川まつりでは子どもたちと一緒に手作り体験をしました。清里高原ロッジ・少年自然の家の宿泊研修会、救急救命講習、日帰り研修での「コマ図」作り等を通して、野外活動やクリエーションに関する知識や技能を向上させました。

25年度は地域の諸団体との連携ができるようすすめていきたいと考えています。

(吉友)



総務部会

今年度の総務部



会は、良いことは残し、みんなでどんどん新しいアイデアを出し合い、より良い総務部に、との思いでスタートしました。新旧交歓会から始まり、ユニフォーム（ボロシャツ）の手配、長Tシャツのデザインや青少年委員連絡会の、のぼり旗の作成、そして忘年会と、何とか部員の皆様の協力で乗り切つてまいりました。もちろん反省点もありますが、まずまずの一年でした。

来年度も、部員の皆様の協力を得ながら頑張っていきたいと思います。

(真塩)



編 集 後 記

アツという間の1年でした。

今回の「だより」は各部会・ブロックの皆さんへの思いを書いていただきました。

1年後の成果を期待しています。
アツ、俺もその1人だった！

